

平成28年3月2日

ふくしま**未**来**学**

福島大学 ふくしま未来学(COC事業)

地域志向教育研究経費成果報告会－地域における大学の役割－のお知らせ

福島大学では、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（COC事業）として、原子力災害からの地域再生を目指す「ふくしま未来学」を平成25年度からスタートしました。

研究分野では、教員の地域を志向した教育・研究等を推進するために「地域志向教育研究経費」として公募し、応募があった研究については審査のうえ採択し、研究費を配分しています。その研究成果を報告するとともに、教員が取り組む研究と教育を結びつけた「ふくしま未来学」の展開について考える場を目的に開催します。また、大学の教職員に限らず、広く地域住民、自治体職員にも呼びかけ、地域に研究の成果を還元することも目的としています。

つきましては、事前の周知及び当日に取材していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡下さい。

記

平成27年度 地域志向教育研究経費成果報告会－地域における大学の役割－

日時 3月24日（木）13:30-16:00

場所 コラッセふくしま 5F 研修室 AB

次第 ・開会

- ・基調講演 室崎益輝氏
- ・研究報告 3事例の報告
- ・意見交換
- ・閉会

※採択された18研究の成果ポスターを会場に展示します

※詳細は添付資料をご覧ください。

【問い合わせ先】

福島大学 ふくしま未来学(COC)推進室事務局

Tel : 024-504-2850 / Fax : 024-504-2849

当日の連絡先 : 080-2844-9502

担当 : 北村

平成27年度 福島大学ふくしま未来学(COC事業)

地域志向教育研究経費 成果報告会 地域における大学の役割

福島大学では、教員が学生や地域の自治体、住民とともに
原子力災害からの地域再生をめざす「ふくしま未来学」を展開しています。

本報告会では、その研究成果を報告するとともに、
地域や被災地における大学の役割を考えていきます。

平成28年 **3.24** 木 13:30▶16:00
受付開始 ▶ 13:00

コラッセふくしま 5F 研修室AB

福島県福島市三河南町1番20号

公共交通機関、または周辺の
有料駐車場をご利用ください

入場
無料

研究成果ポスター展示あり

地域の皆様、
自治体職員様、
本学ならびに
他大学の
教職員様など

お気軽にご参加ください!

開会

基調講演

「被災地における大学の役割」

研究事例報告

- 1 東日本大震災・原発過酷事故を教育研究に
どのように取り入れるか
—公共政策論(既存科目)、演習(既存科目)—
行政政策学類 教授 今井照
- 2 震災・原発事故の教訓を踏まえた取り組みに関する調査
共生システム理工学類 准教授 後藤忍
- 3 自己学習プログラム「むらの大学一期生が行く
SO-SO(相双)元気プロジェクト」 学生

意見交換

閉会



基調講演
室崎 益輝氏

1967年3月、京都大学工学部建築学科卒業。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、関西学院大学教授などを経て現職。日本火災学会会長、日本災害復興学会会長、地区防災計画学会会長、消防審議会会長などを歴任。日本火災学会会賞、日本建築学会賞、都市住宅学会賞、防災功労者内閣総理大臣表彰などを受賞。著書に、「地域計画と防火」など。

地域とつながる。
ともに学ぶ。

申込
方法

参加ご希望の方は、FAXまたは
メールで事前にお申し込みください。

●FAXでお申し込みの方は、裏面のFAX用紙に必要事項を
ご記入の上お送りください。●当日のお申し込みでも参加可能です。

お問い合わせ

福島大学ふくしま未来学(COC)推進室事務局 | 福島市金谷川1番地

☎ 024-504-2850 ✉ miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp

開催趣旨

福島大学では平成25年度より、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC)」の採択を受け、特修プログラム「ふくしま未来学」を実施してきました。本プログラムでは、カリキュラム改革として、原子力災害からの地域再生をめざす「ふくしま未来学」を展開しています。そして、より一層地域における地域志向性を高めるためには、教員による地域での研究活動の展開が不可欠です。そこで、地域志向性を高めていくために、自治体や住民と協働した教育研究を支援してきました。

本研究経費も3年目に入り、教員の地域での研究活動の展開により、地域志向性の高い新規科目の開設等につながっています。本学では、研究の成果を地域に還元し、地域や被災地における大学としての役割を果たしていく所存です。

このたびは、阪神・淡路大震災をはじめとし、多くの災害の被災地に関わってこられた、神戸大学名誉教授であります、室崎益輝氏に「被災地における大学の役割」と題し基調講演をしていただきます。また、本研究経費を使用した研究成果を2名の教員と学生が報告いたします。

基調講演、研究報告を通し、地域における大学の役割をみなさんと考えていきたいと思っております。本研究経費に採択された18件の研究成果のポスターも展示いたします。ぜひご参加ください。

ふくしま 未来学

ふくしま未来学とは？

「ふくしま未来学」は、原子力災害からの経験を踏まえ、地域課題を実践的に学び、未来を創造できる人材の輩出と原子力災害からの地域再生を目指すものです。



研究事例報告

1 東日本大震災・原発過酷事故を教育研究にどのように取り入れるか
— 公共政策論(既存科目)、演習(既存科目) —

行政政策学類 教授 今井照

震災・原発事故以降の講義科目や演習の内容について紹介し、5年間連続して行っている演習での仮設住宅訪問の結果から、現在の避難者が抱えている課題を抽出して、今後の政策対応についての示唆とする。

2 震災・原発事故の教訓を踏まえた取り組みに関する調査

共生システム理工学類 准教授 後藤忍

震災・原発事故の教訓を踏まえた取り組みについて、①防災、②行政(復興、再生可能エネルギー)、③教育の3つの観点から調査対象を選定して、フィールドワークやヒアリング調査を行った結果を報告する。

3 自己学習プログラム
「むらの大学一期生が行くSO-SO(相双)元氣プロジェクト」

木村元哉(行政政策学類2年)、橋本秀(共生システム理工学類2年)、平澤和弥(経済経営学類2年) 担当教員:丹波史紀
震災によって人口減少した川内村で、交流人口を増やすためのイベントを実施し、福大生に相双地域の現状や魅力を伝える展示や発信を行ったことを報告する。

参加申込書 FAX:024-504-2849

申し込み締め切り ▶ 平成28年3月18日(金)

FAXで申し込みの方は必要事項をご記入の上、上記番号までお送りください。

ふりがな	
お名前	
所属(勤務先・地域など)	
TEL	

メールでの申し込みも受け付けております。✉ miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp